

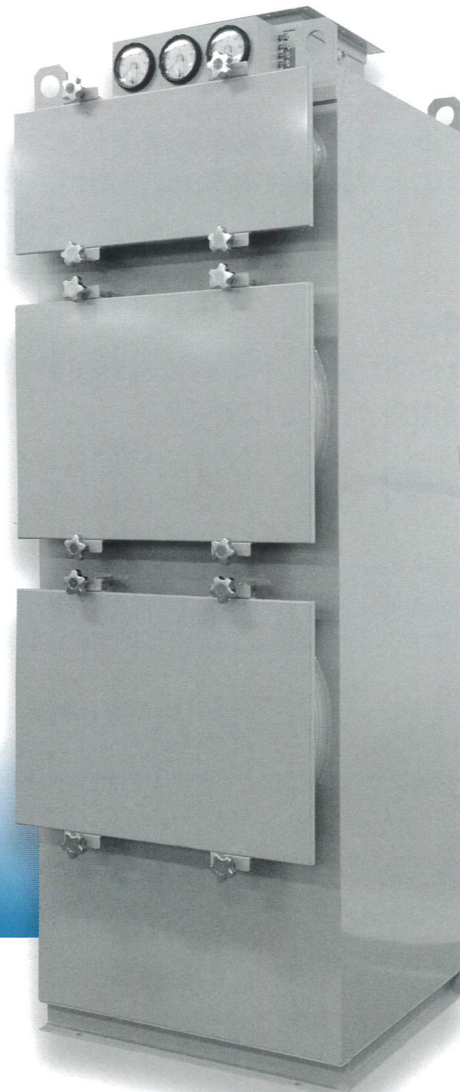
密閉交換型フィルタユニット

セーフティ排気ユニット



▶N-R-AC◀

▶R-AC◀



OSHITARI LABORATORY, INC

SAFETY VENTILATOR

# セーフティ排気ユニット

セーフティ排気ユニットは、放射線科などの医療機関で使用するRI（ラジオアイソトープ）の封じ込め機器として開発されました。内蔵されたフィルタによりRIの他、高活性物質などの有害物質から環境を守ります。また、フィルタ交換も密閉を保ったまま行うことにより有害物質から作業員を守ります。

※ステンレス製、ドレン管付の水洗浄仕様も製作可能です。

※原子力関係にご使用の場合は、別途ご相談ください。

## 【特徴・安全性】

- 気密度は500Paの耐圧テストにより保証されています。
- フィルタの固定は、スプリングによる「バランス均一機構」によりフィルタ全面を均等に密着させています。
- フィルタの交換はバグインバグアウト方式により密閉を保ったまま行うことができ、暴露による汚染が避けられます。

### N-R-AC

- ・ ハッチが1個所であるためチャンバーの高さが低くなりました。
- ・ プレフィルタ、HEPAフィルタが同時に着脱できるので、交換時間が短縮できます。
- ・ HEPAフィルタにより高活性物質、細菌類が捕集されます。

### R-AC

- ・ 活性炭フィルタによりガス状物質が吸着されます。
- ・ HEPAフィルタにより高活性物質、細菌類が捕集されます。

## 【本体仕様】

構造：鋼板製耐圧構造

耐圧：500Pa加圧30分間放置後、許容漏洩50Pa以内

塗装：エポキシ樹脂塗装、マンセルN-7

## 【エアフィルタ仕様】

### ■ N-R-AC

品名	仕様	記号	型式	外形寸法 (mm)	定格風量 (m <sup>3</sup> /min)	効率 (%)	圧力損失 (Pa)	質量 (kg)
ミラクルフィルタ (プレフィルタ付) (HEPAフィルタ)		PS	M-P-500- AFAL-T	610×610×290	50.0	99.97 (PAO)	350	16

### ■ R-AC

品名	仕様	記号	型式	外形寸法 (mm)	定格風量 (m <sup>3</sup> /min)	効率 (%)	圧力損失 (Pa)	ベット厚 (mm)	質量 (kg)
プレフィルタ		P	PF-320	610×610×50	31.2	.75以上 (JIS15種)	49~196	—	2.5
スーパーエアフィルタ (HEPAフィルタ)		S	S-P-320	610×610×290	31.2	99.97以上 (PAO)	249~498	—	15
スーパーチャコールフィルタ (活性炭フィルタ)		G	SC-T-280	610×610×290	28.0	99.9 (フレオン)	245	25.4	70

# N-R-AC型

【N-R-AC寸法表】

備考：質量はエアフィルタを含む総質量です。

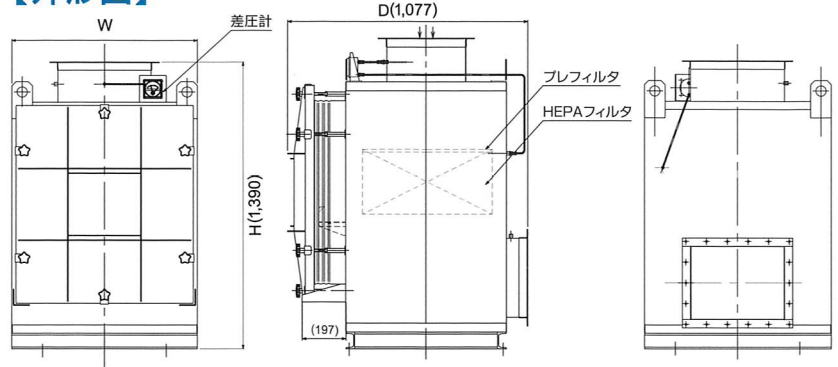
型式	風量 (m <sup>3</sup> /min)	チャンバー外形寸法 (mm)			エアフィルタ枚数			質量 (kg)
		H	W	D	P	S	G	
N-R-AC-12-PS	30	1,390	900	1,077	1	1	—	185
N-R-AC-22-PS	60	1,390	1,800	1,077	2	2	—	350
N-R-AC-32-PS	90	1,390	2,700	1,077	3	3	—	520

【標準型式例】

**N-R-AC-32-PS**

列数  
段数  
プレフィルタ  
HEPAフィルタ

【外形図】



# R-AC型

【R-AC寸法表】

備考：質量はエアフィルタを含む総質量です。

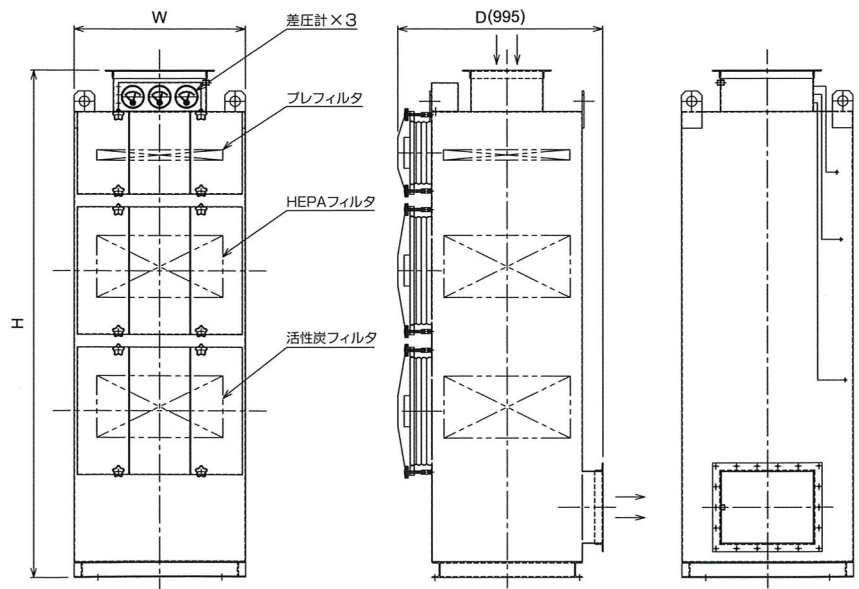
型式	風量 (m <sup>3</sup> /min)	チャンバー外形寸法 (mm)			エアフィルタ枚数			質量 (kg)
		H	W	D	P	S	G	
R-AC-12-PS	30	1,755	830	995	1	1	—	160
R-AC-13-PSG		2,455	830	995	1	1	1	330
R-AC-22-PS	60	1,755	1,660	995	2	2	—	290
R-AC-23-PSG		2,455	1,660	995	2	2	2	610
R-AC-32-PS	90	1,755	2,490	995	3	3	—	425
R-AC-33-PSG		2,455	2,490	995	3	3	3	900

【標準型式例】

**R-AC-33-PSG**

列数  
段数  
プレフィルタ  
HEPAフィルタ  
活性炭フィルタ

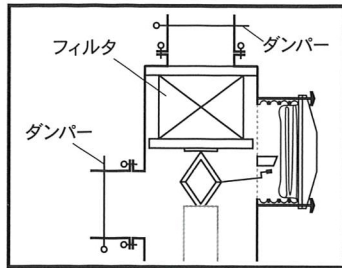
【外形図】



# フィルタの交換方法

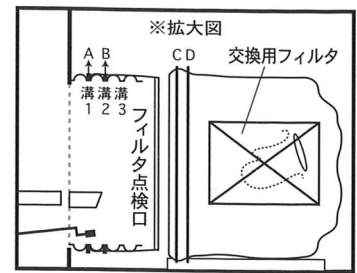
[1]

- 送風機を止めるか、ダンパーを閉めて送風を止めます。  
(ダンパーはオプションです。)



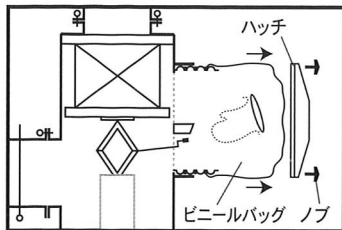
[6]

- 交換用フィルタの入ったビニールバッグをフィルタ点検口の上からかぶせ、Oリングを掛けます。【以下その手順になります。】



[2]

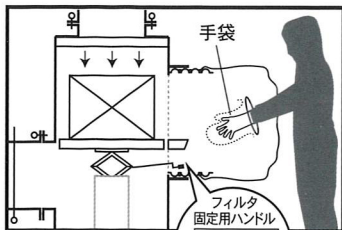
- ハッチを固定しているノブを緩め、ハッチを開けます。
- ビニールバッグを手前に引き出します。



- Oリング A、B を溝 1、2 から溝 2、3 へ移動します。
- Oリング C を溝 1 に掛けます。
- Oリング A、B を外します。
- Oリング D を溝 2 に掛けます。

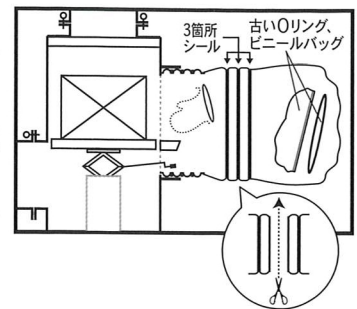
[3]

- ビニールバッグの手袋に手を入れ、フィルタ固定用ハンドルを止まるまで左に回します。



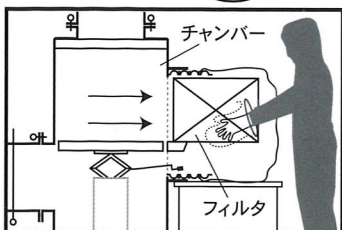
[7]

- 交換用フィルタをチャンパー内に入れます。
- 古いビニールバッグを隅に寄せ、ヒートシーラーで3箇所シールします。
- 中央のシール部をハサミなどで切り離します。



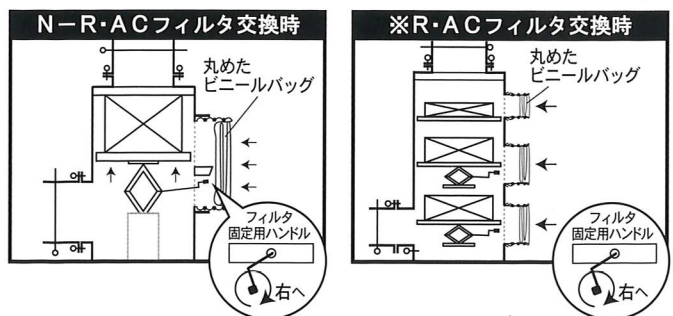
[4]

- フィルタをチャンパー内からビニールバッグの中に引き出します。



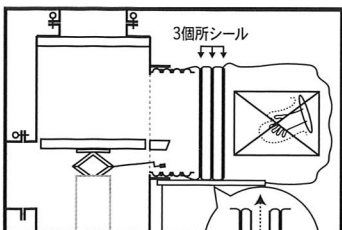
[8]

- ビニールバッグの手袋に手を入れ、フィルタが定位置にあることを確認します。
- フィルタの固定は、フィルタ固定用ハンドルを約3mm押しつぶす程度に右に回します。  
(フィルタパッキンの厚さは7mmあります。)
- ビニールバッグを丸めてフィルタ点検口に収めます。



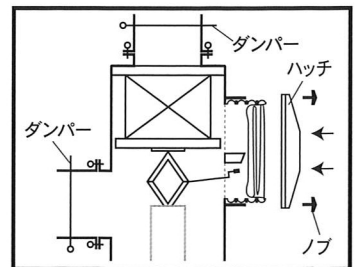
[5]

- ビニールバッグをヒートシーラーで3箇所シールします。
- 中央のシール部をハサミなどで切り離します。



[9]

- ハッチをノブで締め付けます。



[10]

- ダンパーを開け、交換を完了させます。

※複数のフィルタ点検口がある場合、各フィルタ点検口ごとに「2」～「9」の作業を行います。

・交換用フィルタの入った新しいビニールバッグを用意します。



株式会社 忍足研究所

本社営業所 〒350-1322 埼玉県狭山市下広瀬 755-1 電話 04(2930)2072 (代表)  
FAX 04(2955)5025  
東京営業所 〒104-8423 東京都中央区築地 5-6-4 電話 03(4546)1168 (代表)  
FAX 03(4546)1169  
名古屋営業所 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄 2-2-12 電話 052(747)4313 (代表)  
FAX 052(747)4317  
大阪営業所 〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町 3-5-19 電話 06(6120)3231 (代表)  
FAX 06(6120)3227  
九州出張所 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 3-13-1 電話 092(477)5801 (代表)  
FAX 092(477)5808

当カタログに掲載した製品の仕様・内容は品質の改良などにより予告なく変更することがあります。  
■このカタログは、環境に配慮し70%再生紙に大豆インキを使用して印刷しています。



2015.02.CP.1000 <TB>